

「ジェネリック医薬品ご利用のおすすめ」の見方！

同封のチラシ



ジェネリック医薬品ご利用のおすすめ

服薬中の先発医薬品を、安価なジェネリック医薬品に切り替えることで、家計の負担を軽減できます。ジェネリック医薬品の概要については同封のリーフレットをご覧ください。

1 平成31年2月から3か月間で処方されたお薬を、ジェネリック医薬品に切り替えた場合、2 **5,940円** 程度安くなる見込みがあります。

あなたが受診された月の負担割合で計算しています。

処方されたお薬 (先発薬) とお薬代	ジェネリック医薬品に変えると
平成31年2月処方分	
3 〇〇〇〇カプセル2.5mg 4 13,600円	5 xxxxカプセル2.5mg 6 8,100円 7 5,490円軽減
〇〇〇〇錠1.0mg 990円	xxxx錠1.0mg 540円 450円軽減

※表示のお薬名称、お薬代は記入例となります。

- お知らせに記載しているお薬の**処方された期間**です。
- よく使われているジェネリック医薬品に切り替えた場合の**軽減額の目安**です。
- 処方されたお薬 (先発医薬品) の**名称**です。
- 窓口で支払われた金額** (1か月分) です。
- よく使われているジェネリック医薬品の**名称**です。
- よく使われているジェネリック医薬品に切り替えた場合の**窓口支払額の目安**です。
- ②の軽減額を**お薬ごと**にお示したものです。



記載されているジェネリック薬は、複数ある内のよく使われているお薬の一例です。病院や薬局によって在庫がない、又はジェネリック薬の種類が異なる場合があります。ご検討の際には**必ず医師又は薬剤師にご相談し、効能・負担金額等についてご確認ください。**

加入者の皆様へ

平素より船員保険事業につきましてご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。船員保険では加入者の皆様のお薬代の軽減や医療費の抑制につながることから「ジェネリック医薬品」の使用を促進しています。

これまでの軽減効果を踏まえ、今年度も引き続き「ジェネリック医薬品ご利用のおすすめ」をお送りします。このお知らせは、処方されたお薬を「ジェネリック医薬品」に切り替えた場合に、どのくらいお薬代が軽減されるかを試算したものです。ジェネリック医薬品という選択肢があることを知っていただき、切り替えをご検討いただく際の参考となれば幸いです。

全国健康保険協会 船員保険部



ジェネリック医薬品とは？

「ジェネリック医薬品 (後発医薬品)」は、先発医薬品 (新薬) の特許が切れた後に製造・販売される、「先発医薬品と同じ有効成分を同量含んでおり、(先発医薬品と) 同等の効き目がある」と厚生労働大臣に認められた医薬品です。先発医薬品に比べて薬の値段が5割程度、中にはそれ以上安くなるものもあります。

ジェネリック医薬品の特長！

まずは試してみたい！

先発医薬品より安くて、家計にやさしい

お薬の価格は5割程度、中にはそれ以上お得になる場合も！

効き目や安全性も先発医薬品と同じ

国による厳しい審査を受け、承認されています。

飲み薬以外も変更可能

「飲み薬」だけではなく、「目薬」「ぬり薬」「シップ薬」なども変更できます。

そんな時は「お試し調剤」

短期間だけの処方もOK。試して合わなければ、元の薬に戻せます。

ご質問・ご相談は**サポートセンター**へお問い合わせください。

0120-632-003 (通話無料)

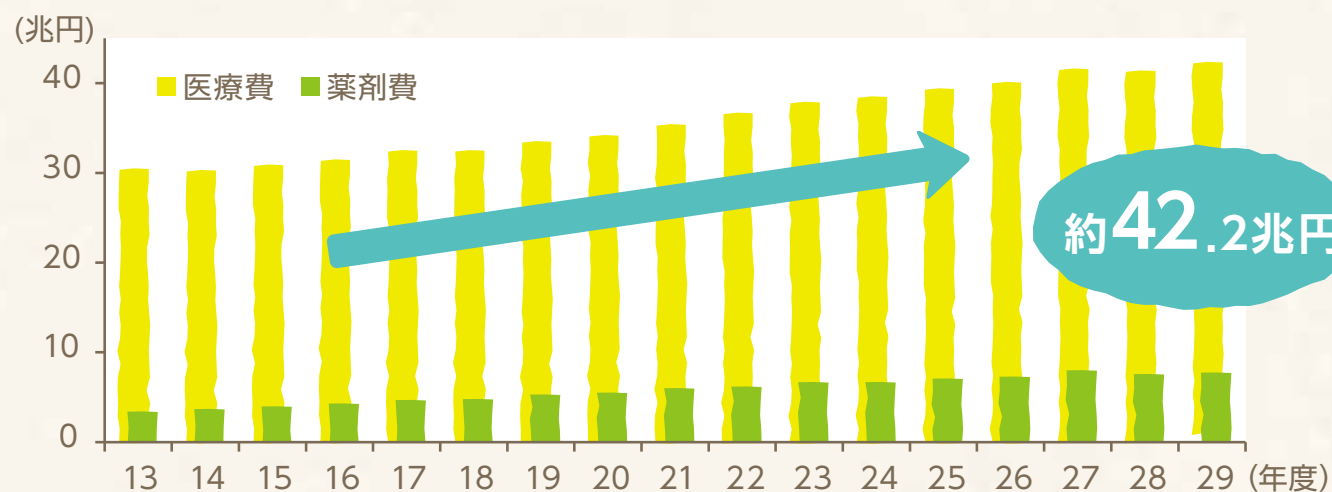
受付時間 8:30~17:15 開設期間 令和元年9月30日まで



今後「ジェネリック医薬品ご利用のおすすめ」が不要の方は、お手数ですがサポートセンターまでご連絡ください。

＋ジェネリック医薬品で医療保険制度を未来へ！

ここ数年、日本の医療費は年に**約1兆円**も増加しています。ジェネリック医薬品の使用は、一人一人の自己負担軽減だけでなく、医療費・薬剤費の削減につながり、将来にわたる医療保険制度の安定的な運営に寄与します。



平成29年度は、ジェネリック医薬品に切り替えたことによる医療費の削減効果は、**約1兆3000億円**に上るとの推計が厚生労働省より発表されています。

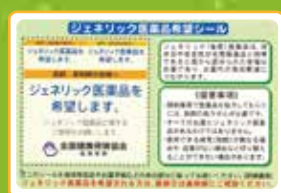
＋ジェネリック医薬品の切替効果！

船員保険では、平成24年度から、ジェネリック医薬品に切り替えた場合のお薬代の軽減額をお知らせする取組みを実施しています。

お知らせをお送りした方のおよそ4人に1人がジェネリック医薬品に切り替えていただいたことから、単純推計すると約6.4億円の財政効果が得られたことになり、加入者の皆様の窓口負担額としても一人当たり月額**約1,684円が減額**されたこととなります。

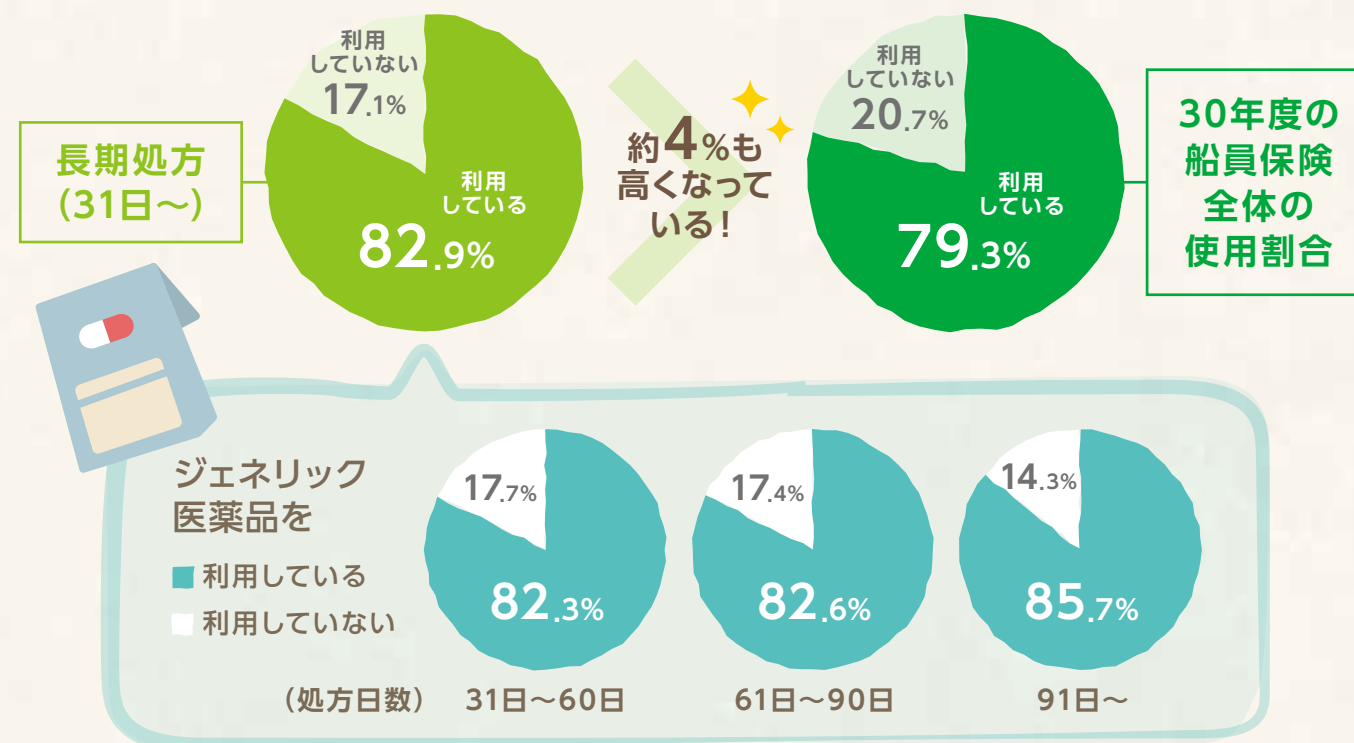
ジェネリック医薬品への切り替えには同封の「ジェネリック医薬品希望シール」をご活用ください。

※「被保険者証」や「おくすり手帳」などの余白部分に貼ってお使いください。



＋長期間お薬を処方されている方へ！

一度に長期間のお薬を処方されると、一度にご負担いただく窓口負担額も高額となりますが、ジェネリック医薬品に切り替えていただくことで軽減可能です。船員保険では、処方日数が長いほどジェネリック医薬品の使用割合も高くなっています。



また、下記のような先発医薬品がよくジェネリックに切り替えられています。

ジェネリック医薬品に切り替えられている主な先発医薬品

【高血圧】	【糖尿病】	【脂質異常症】	【胃潰瘍】
主なお薬	主なお薬	主なお薬	主なお薬
・アイミクス配合錠 ・オルメテックOD錠 ・ミカルディス錠	・ベイスンOD錠 ・アクトス錠 ・セイブル錠	・ Crestor錠 ・リピトル錠 ・リパロ錠	・パリエット錠 ・タケロンOD錠 ・ガスター-D錠
使用割合 83.3%	使用割合 81.3%	使用割合 84.4%	使用割合 84.1%

※上記の使用割合は調剤レセプトを対象としています。

！ご注意ください

- ジェネリック医薬品と先発医薬品の主成分は同じですが、副作用等に個人差があります。変更をご希望の場合は必ず医師または薬剤師にご相談ください。
- ジェネリック医薬品への変更は、本人の意思を尊重するものでありこのお知らせにより強制されるものではありません。
- 本明細にはジェネリック医薬品に切り替えることで自己負担が軽減できるお薬のみ記載しております。全てのお薬を記載しているわけではありませんので、処方歴の確認などにはご使用いただけません。
- 本明細は、医療機関・薬局から請求のあったデータに基づいて作成しています。医療機関・薬局からの請求が遅れた場合は表記の期間内の受診であっても、本明細には記載していません。
- お薬代は所定の薬剤料計算方法によって算出しています。又、薬剤料のみを表示していますので、窓口でお支払いになった金額と異なります。
- ジェネリック薬の処方にあつた費用が、切り替え額を上回り、実質負担が軽減されないことがあります。また、院内処方から院外処方に変えた場合、新規に発生する処方箋料等との差引きで安くないことがありますのでご注意ください。
- 掲載されている医薬品情報等は、7月31日現在の薬価基準収載品目リストを基に掲載しています。
- 本通知は、全国健康保険協会船員保険部が、日本システム技術(株)に業務を委託して実施しています。委託事業者日本システム技術(株)には守秘義務が課せられており、個人情報及び薬剤情報は、このご案内の目的以外には一切使用しません。